

日本保健物理学会 新 Newsletter 2017年12月5日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2017/12/05 14:36:43

日本保健物理学会 新 Newsletter 2017年12月5日号

1. 学会関連情報

○理事会 放射線防護研究ネットワーク推進事業 重点テーマ提案のお願い

会員の皆様から、平成31年度の放射線安全規制研究の重点テーマの提案をいただき、その中から理事会で5つを選択して提案したいと思います。奮ってご提案ください。

締切:12月15日(金)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=84>

○企画委 Joint ICRP-RERF-JHPS Workshop on Recent Progress in Radiation Dosimetry for Epidemiology and Radiological Protection

12月2日(土)に開催し、参加者60名と盛況のうちに終了しました。詳細はあらためて報告いたします。

2. 関連する研究動向

○JAEA 雷が反物質の雲をつくる!? - 雷の原子核反応を陽電子と中性子で解明 - (11月23日)

<https://www.jaea.go.jp/02/press2017/p17112301/>

(論文情報)

○Phys Med Biol. 11月21日に電子版先行掲載 (doi: 10.1088/1361-6560/aa959c).

医療被ばく(核医学)で、名目リスク係数に基づく実効線量よりも、特定の性や年齢などに対する生涯寄与リスク(LAR)の使用を提案。

Lifetime attributable risk as an alternative to effective dose to describe the risk of cancer for patients in diagnostic and therapeutic nuclear medicine.

Andersson M et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/29064376>

*関連する10月3日の福島での発表資料は↓よりダウンロード可

:Joint FMU-ICRP Workshop on Radiological Protection in Medicine

<http://www.icrp.org/docs/2017fuk/3%20Mattsson%20Presentation.pdf>

○Radiat Res. 11月14日に電子版先行掲載 (doi: 10.1667/RR14791.1).

米国科学アカデミーが2016年11月に開催した第12回ギルバート・ウィーラー・ビービシウムシンポジウムの概要を

まとめたコメンタリー。チェルノブイリ事故の健康影響に関する現在の知見がまとめられており、今後の関連研究に関する展望も議論されている。

Gilbert W. Beebe Symposium on 30 Years after the Chernobyl Accident: Current and Future Studies on Radiation Health Effects.

Samet JM et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/29136393>

*Health Physics News 2017年1月号のBoice Report #54も参照

http://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/BOICE-HPnews/54-Beebe_Symp_NAS_Jan2017.pdf

ORPD Editor's Choice からの紹介

https://academic.oup.com/rpd/pages/editors_choice

Radiat Prot Dosimetry. 2015 Feb;163(2):181-7.

介入治療に関わる麻酔科医の実効線量と水晶体線量をモンテカルロ計算と場の計測により評価。

モンテカルロ計算から、立ち位置とビームの方向で、実効線量は10倍以上、水晶体線量は200倍以上、変わる
との結果が得られた。

場の計測からは、鉛エプロン越しの頸部、胸部、腰の線量と水晶体線量とに良い相関が得られた。

Influence of standing positions and beam projections on effective dose and eye lens dose of anaesthetists in interventional procedures.

Kong Y et al

<https://doi.org/10.1093/rpd/ncu148> (PDF 無償)

○Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, October 2017, 314(1), p.403 - 411

落葉広葉樹林を集水域とする小河川に放射性Csの連続捕集装置を設置して2013-2014年に調査を行い、森林から河川への懸濁態及び溶存態の放射性Cs流出挙動を評価した。その結果、放射性Csの主要な流出形態は最小の粒径75μm以下の懸濁態であり、分解の進んだリターと表層の無機土壌からなることが明らかになった。リターと無機土壌系におけるCs分布の時間変化から、懸濁態Csの流出は長期続く可能性があるが汚染リター分解を起源とする溶存態Csの流出は数年でゆるやかになることが示唆された。

Sources of ¹³⁷Cs fluvial export from a forest catchment evaluated by stable carbon and nitrogen isotopic characterization of organic matter

Muto K et al

<http://dx.doi.org/10.1007/s10967-017-5350-7>

3. ニュースや社会の動き

○関西電力 大飯原発再稼働 大飯発電所3、4号機の再稼働にかかる福井県知事のご判断についてコメント
(11月27日)

http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2017/1127_1j.html

○原子力規制庁 第225回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合(11月24日)の配布資料を公開

https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear_facilities/00000084_2.html

○原子力規制庁 第226回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合（11月24日）の配布資料を公開

https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear_facilities/00000085_2.html

○原子力規制庁 第50回、第51回、52回（11月22日、29日）原子力規制委員会配布資料の公開

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/kisei/00000290.html>

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/kisei/00000291.html>

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/kisei/00000292.html>

○原子力規制庁 第530回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（12月1日）の配布資料を公開

https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/power_plants/00000158_2.html

○NUMO 意見交換会の公正性に疑問を持たれるような参加者募集活動があった件について

- ・「科学的特性マップに関する意見交換会」の参加者募集に関する事実関係究明と再発防止に向けた対応について（11月20日）

<http://www.numo.or.jp/press/201717112020.html>

- ・「『科学的特性マップに関する意見交換会』の参加者募集に関するご報告」について（11月21日）

<http://www.numo.or.jp/topics/201717112113.html>

○JAEA 記事解説 毎日新聞「ナトリウム回収 想定せず もんじゅ設計に「欠陥」 廃炉念頭なく」記事は誤報

https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/article/2017/112901.pdf

4. これからのイベント

○茨城大学大学院理工学研究科量子線科学専攻（12月8-10日、茨城大学 水戸キャンパス図書館3階ライブラリーホール）2nd International Symposium of Quantum Beam Science at Ibaraki University（発表言語は英語です。通訳はありません。）

地域に展開する物質科学と環境放射線科学の最前線」をテーマとし、デンマーク国 元リソ国立研究所の Kasper Grann Andersson 博士によるプレナリートーク、福島大学、富山大学の研究者による環境放射能に関する講演を予定

<http://www.quantum.ibaraki.ac.jp/articles/20171114.html>

○JAEA 「原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて?」（12月7日、時事通信ホール）

<https://www.jaea.go.jp/04/isdn/activity/2017-12-07/announce.html>

○京都大学原子炉実験所 専門研究会「陽電子科学とその理工学への応用」

（12月8日～9日、京都大学原子炉実験所）

http://positron-science.org/free_241385/KUR2016.txt

○東京工業大学 平成29年度第11回先導原子力研コロキウム“放射線によるDNA損傷と損傷初期応答”

(12月21日、東京工業大学)

<http://www.nr.titech.ac.jp/jp/events/colloquium.html#c29-11>

○日本アイソトープ協会【市民講座】乳がん講演会 ～検査・治療・サポートについて正しく知ろう！～

(2018年2月25日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町)

<https://jrias.smktg.jp/public/seminar/view/91>

○日本アイソトープ協会 アイソトープ・放射線研究会 (2018年7月4日～6日、東京大学弥生講堂)

一般発表演題 申込締切 2018年2月28日

https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○岡山大学自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門 教授

(締切：12月28日必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail/koubo_hikarihousyasenn20171129.pdf?fn=99&id=D117111797&In_jor=0&seqNo=1

○放射線医学総合研究所 分子イメージング診断治療研究部 任期制非常勤職員

(研究職 分子イメージング診断治療研究部) (締切：12月8日必着)

http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/NIRS/29nirs_76.pdf

○長崎大学原爆後障害医療研究所共同研究推進部 助教 (テニュアトラック制)

(被ばく医療科学分野の共同研究推進) (締切：12月25日必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D117111583&In_jor=0&top_btn=1

○名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻医用量子科学講座 助教 (テニュアトラック制)

(締切：12月25日必着)

<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/KOUBO/index.html>

○原子力規制庁長官官房監視情報課 任期付職員3名 (締切：12月28日)

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/ninki05_20171201_01.html

○原子力規制庁長官官房放射線防護企画課 任期付職員 (締切：12月28日)

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/ninki06_20171201_01.html

○原子力規制庁長官官房監視情報課 任期付職員 (締切：12月28日)

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/ninki04_20171201_01.html

○東北大学金属材料研究所 原子力材料工学研究部門 助教 任期あり、7 年（締切：2018 年 1 月 12 日必着）

http://www.imr.tohoku.ac.jp/ja/news/open_position/detail---id-387.html

○産総研ポスドク（イノベーションスクール生）（締切：2018 年 1 月 3 日必着）

<https://unit.aist.go.jp/inn-s/ja/employment/forApplicants.html>

○UNSCEAR Secretary（ウィーン）（締切：2018 年 1 月 5 日必着）

<https://careers.un.org/lbw/jobdetail.aspx?id=88909>

○環境省 採用・キャリア形成支援情報 任期付職員（水・大気環境局水環境課）（締切：2018 年 1 月 5 日必着）

http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_x2/171124a.html

○東京大学大学院農学生命科学研究科 附属アイソトープ農学教育研究施設 教授（締切：2018 年 1 月 9 日必着）

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/job/faculty/20171122-1.pdf>

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

—
【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

—